

2017 9 / 26 第 33 号

ふくしま 再生 短信

8/26 飯館村 「2011-2017放射能・放射線協働測定報告会」 同行記

※ 再生の道に向けて ※



【写真説明】 1. 門馬伸市副村長挨拶。 2～7は報告者、順に、菅野宗夫さん、小原壮二さん、伊井一夫さん、森本品子さん、田尾陽一さん、溝口勝さん。 8. 東大応援部の演武。 9. 討議に参加する佐須行政区長・佐藤公一さん。 10. 当日会場全景。

2017年8月26日午後2時から飯館村交流センター「ふれ愛館」で、認定NPO法人ふくしま再生の会主催「6年間の放射能・放射線の協働測定結果報告会」が開催された。理事長・田尾陽一さんの司会で進行。冒頭に飯館村副村長・門馬伸市さんは「四月に田尾さんが村に移住、村民の7%、企業の14-15%が帰ってきた。帰村から取り残された長泥を何とかしなければ」と挨拶した。宗夫さんは「6年前のみなさんとの出会い以来測定は継続している。測定は日本全国誰もが自分を・自分

の地域を知ること」と言う。小原さんは車載・徒歩・田圃土壌の全村測定、伊井さんは稲・野菜を中心に、森本さんは山野草の、佐野隆章さんは居宅と周辺の測定結果を報告。田尾さんは「個人放射線量と空間放射線量の比較測定」で個人の実生活に即した事実確認と村民への還元が必要と訴えた。溝口さんはICTの活用に加え帰村後の16の村おこし案を提案した。

この日行われた東大応援部の力強い演武は村の人たちに限りない感銘を与えた。（文責&撮影・若林一平）

10月22日 福島再生の会第16回報告会開催します